## 杏林大学研究業績集の発行に寄せて

大学教職員の研究成果を広く社会に向けて発信していくことは、大学の重要な使命のひとつであり、本学では平成22年度より杏林大学研究業績集を発行しています。

教職員の研究成果を公表することにより、学内外において共同研究の活発化や産学連携のシーズ発掘が出来るようになると期待されます。

平成28年に井の頭新キャンパスの開設があり、4学部3研究科が極めて交流しやすくなりました。このような状況を踏まえ、本学の研究活動がより一層活発になるよう、研究推進センターを中心として研究環境改善や研究活動の活性化ができるよう様々な取り組みを進めております。

最後に、本業績の発行は、全学の教員の協力がなければ不可能でした。またこれを取り 纏め頂いた、教員、職員の尽力は誠に大きなものでした。心より感謝申し上げます。

> 平成30年3月 学長 跡見 裕

## 研究推進センターのミッション

研究推進センターのミッションは数多くありますが、そのひとつは杏林大学の研究者が 行った研究成果を広く社会に公表することです。

本学では、独創性・新規性の高い様々な研究が各学部・研究科において進行しています。 当研究成果を研究業績集として公表し、学際研究の活発化や産学官連携のシーズ発掘に繋がることを期待するとともに、この研究業績集により多くの方々に本学研究者の研究業績を知って戴き、その成果をご活用頂けると幸いです。

杏林学園創立50周年を迎えた今、より一層の研究力向上のため、学部間連携・研究科間連携を強め、本学の研究がさらに活発化していくよう支援をしてまいります。

引き続き、皆様方のご指導ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年3月 研究推進センター長 小林 富美惠